

第 7 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 2 年 10 月 22 日（木曜） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出 席 委 員	五十嵐委員、澤委員、神田(征)委員、本間(藤)委員、阿部(勝)委員、山賀委員、工藤委員、鶴巻委員、村山委員 9 人
欠 席 委 員	小池委員、菅原委員
事 務 局 関 係 課	建設課（菊地課長、野澤係長）、高橋区民生活課長、古寺北出張所長、地域総務課（中川課長補佐、高田）
会 議 要 旨	<p>1 令和 3 年度自治協議会提案事業について 令和 3 年度提案事業について、協議をしました。 また、「北区みんなで見守り隊」については、令和 3 年度区企画事業「地域防犯力向上事業」と類似する部分があるため、事業内容について事務局より説明しました。</p> <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区企画事業で「見守り」をやるのであれば、部会では「防災」に関する事業がよいのでは。 → 令和 3 年度事業は防災関係に決定。詳細な事業内容等は 11 月上旬に書面にて意見を聴取し、決定する。 <p>2 新潟市都市計画マスタープランの改定について プラン案を説明し、後日 FAX にて意見を聴取することとしました。 → 次回部会にて引き続き協議する。</p> <p>3 令和 2 年度自治協議会提案事業「北区交通マップ作成」について 前回部会に引き続き、地図作製時の留意点等を検討しました。 〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図内に公共施設や観光地を掲載することは良いと思うが、あくまでも交通マップであるため、バス停名などの交通関係の情報が一番目立つように掲載する。 <p>4 その他 〈区バス及びおらっのバス乗り方チラシの作製について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区交通マップ作成における協議の中で、乗り方については各種交通で周知してはどうかとの意見があり、区バス及びおらっのバスについては、乗り方チラシを作製し、それぞれの沿

線自治会に配布することとしました。(配布は12月1日予定)
・チラシの内容については、11月上旬に書面にて意見を聴取する。

〈「未来に向けたバス・タクシー利用者支援事業」について〉

・標記事業について、事務局より下記のとおり説明しました。

事業期間 令和2年11月9日～令和3年3月31日

①若者向け支援

対象者 13～18歳及び市内の大学・専門学校に在学する
学生約8,000人(市外から通学している学生含む)

支援内容 「りゅーとカード」3,000円分ポイントチャージ
または、区バス・住民バス共通回数券3,000円分

②ぶらばすチケット半額

販売価格 大人500円、こども250円(通常の半額)

販売場所 新潟交通営業所及び案内所

③タクシーチケット300円分プレゼント

支援内容 市内のタクシー(一部対象外)利用時に次回
使えるタクシーチケット300円分を配付

以上

第 7 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 2 年 10 月 22 日 (木) 午後 2 時 50 分～午後 4 時 20 分
会場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	清水委員、樺山委員、梅津委員、中嶋委員、佐久間委員、 5 人
欠席委員	神田(恭)委員、小林委員、相馬委員、平松委員、藤沢委員 5 人
事務局	川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、小林教育支援センター長、高野・深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1)令和 3 年度自治協議会提案事業について 『「助け合い」っていいね』と『みんなで子育て学ぼうよ』を合わせた内容の事業とすることに決定しました。</p> <p>「あったか言葉」っていいね 事業内容</p> <p>子どもにかけたい、子どもがかけられたい思いやりのある言葉などを募集し、様々な方法で発信、啓発していく。子育て中の保護者に自ら考えてもらう機会を設け、すべての人に向けて発信することで、これからの未来を担う子どもたちの育成環境を改善するとともに、子育て応援の機運醸成を図る。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷ものだとどうしても事務局が主になる。行政主導でなく、委員が自分で動いてできる事業としたい。 ・区づくり予算事業の区企画分「北区子育て応援事業」のなかで LINE を利用した情報発信事業が挙げているので、それと連携してできることがあるのではないか。 ・単年度事業なので、今後継続していく LINE を使った事業は難しいのでは。委員の方もできる人とできない人がいる。 ・子どもから何かを募集する際、学校を通してお願いするのは、先生の負担が大きく難しいと思われる。 ・事業名を子どもが興味を持つように変更してはどうか。 <p>(2) 令和 2 年度自治協議会提案事業「福祉教育部会だより」について 16 ページに組んだ資料に基づいて検討した。 ページ順を読みやすいように配置を変える。 タイトルを次回までに各自考えてきてもらう。 コロナのページは防災を除き人権的なことにしぼる。 細かいレイアウトは印刷業者に任せる。</p>

第 7 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 2 年 10 月 22 日（木曜） 午後 2 時 50 分～午後 3 時 55 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、皆川委員 原委員、本田委員、渡邊委員
欠席委員	黒川委員
事務局	産業振興課（山際課長、村山係長）、区民生活課（高橋課長）、 地域総務課（長谷川課長補佐、伊藤副主査）
会議要旨	<p>●福島潟 P R 動画の制作状況・記事掲載実績について 豊栄高校の動画制作に係る進捗状況を事務局が説明した。 → 9 月 30 日(水) 福島潟で舟を使い水中音などを撮影 → 10 月 9 日・16 日(金) ドローンを使つての撮影</p> <p>記事掲載実績について事務局が説明した。 → 9 月 25 日の新潟日報(朝刊)の 12 面地域欄において活動を紹介していただいた → 市報にいがた 11 月 1 日号の特集「私たちのまちづくり」において、北区の協働の取り組みとして活動が取り上げられた。 記事では、豊栄高校の野沢美術部長のインタビューが掲載されている</p> <p>●福島潟マルシェでのブース出展について 11 月 3 日(祝)に開催される福島潟マルシェに自治協議会のブースを出すこととした。ブースでは、ラムサール条約登録啓発パネルの展示を行うほか、福島潟に関係するマスコットなどの缶バッジを自然文化部会の委員が制作・配布し、福島潟の魅力を P R することとした → 自然文化部会の委員がオニバスマンなどの缶バッジを約 120 個作成 → 当日は、作成した缶バッジを全て配布。マスコットキャラクター「クイクイ」も登場し、多くの人が写真撮影を行うなど大盛況であった。</p> <p>●令和 3 年度の自治協提案事業(自然文化部会実施分)について 令和 3 年度、自然文化部会で実施する自治協提案事業を次のとおり決定した。 提案事業名：北区 自然の魅力発信事業</p>

概要：潟や桜など地域の自然の魅力を発信します。潟については、福島潟の魅力PR動画を制作するほか、十二潟、内沼潟、ひょうたん池の魅力発信などにも取り組みます。また、桜をはじめとした北区の自然の魅力を見つめ直し、パンフレットや写真入りカレンダーの製作などを通して、それらの魅力を区内外へ広く発信します。